



## 子どもたちの成長を支える「本物との出会い」

学校長 <sup>のむら</sup> 野村 <sup>ひかる</sup> 光

朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じる季節となりました。先月は、子どもたちの成長や学びを感じる場面が数多くありました。その中でも、特に印象深かった二つの出来事があります。

一つは、6年生の日光修学旅行です。

今年は、インフルエンザの流行や季節外れの台風、さらにはクマの出没情報など、実施に向けて心配されることもありましたが、出発当日は、多くの保護者の皆様や教職員に見送られながら、6年生は元気いっぱいに出発しました。天候や感染症流行など心配されることもありましたが、おかげさまで二日間の日程を無事に終えることができました。子どもたちは、華嚴の滝や湯滝に代表される雄大な自然に触れ、足尾の歴史を学び、世界遺産である日光東照宮を見学するなど、教室では得ることのできない貴重な体験を重ねました。宿泊した湯元温泉では、足湯や源泉周辺の散策を楽しみ、自然の不思議や豊かさを肌で感じていました。また、仲間と寝食を共にする中で、互いを思いやりながら協力して生活することの大切さも学んだことでしょう。特にうれしかったのは、宿の方から食事のマナーや気持ちのよい挨拶についてお褒めの言葉をいただいたことです。洋光台第二小学校の最高学年としての自覚と成長を感じ、頼もしく思いました。

もう一つは、本校が横浜市交通安全功労者表彰を受けたことです。

本校では、交通安全を「教えられるもの」としてだけではなく、「自分ごと」として考えることを大切にしています。昨年度からは代表児童が地域のスクールゾーン対策協議会に参加し、自ら地域を歩いて危険箇所を見つけ、その気付きや改善案を地域や行政の皆様伝える活動を行っています。こうした取組を通して育みたいのは、単に交通ルールを守る力だけではなく、周囲の状況に目を向け、自ら考え、判断し、行動する力です。それは交通安全だけでなく、これからの社会を生きていくために必要な力でもあります。

修学旅行も交通安全の取組も、一見すると異なる活動のように見えます。しかし、その根底にあるのは「本物に触れ、自分で考える学び」です。実際に見て、感じて、人と関わる中で、子どもたちは知識だけではなく大切な力を身に付けていきます。

こうした子どもたちの学びを支えてくださっているのが、保護者や地域の皆様です。今回の交通安全功労者表彰は、毎朝子どもたちの見守りを続けてくださる学援隊の皆様や保護者の皆様、地域の皆様の支えがあってこそのものです。改めて心より感謝申し上げます。

本校では、「相手を意識したしっかりとしたあいさつができる子ども」「自ら考え進んで実行できる子ども」「自分も大切、相手も大切にできる子ども」の育成を目指しています。今回の修学旅行で見られた気持ちのよい挨拶や仲間との協力する姿、そして交通安全の取組を通して育まれる主体的な判断と行動は、まさに私たちが目指す子どもたちの姿そのものです。

11月も、子どもたち一人ひとりが多くの人との出会いや様々な体験を通して学びを深め、自ら考え、思いやりをもちながら行動できるよう、教職員一同取り組んでまいります。今後とも本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



「横浜市交通安全功労者表彰式」

2026.10.20



「日光修学旅行」

2026.10.23-24